

両親の仕事の関係で子どもの頃から海外に行く機会が多かったので、将来は私も海外で活躍したいと思うようになりました。それで中学卒業後はニュージーランドの高校に留学し、3年間を過ごしました。環境はがらっと変わりましたが、留学してよかったと思います。一番よかったのは、やはり英語力を身につけられたこと。あと、海外に行きたい人の中には、環境さえ変えれば全部うまくいっている人もいますが、今の状況をよりよくするためには自分自身の力で努力しなければならないと分かったことも。だから多くの高校生もどんどん海外に出て刺激を受けてほしいですね。

高校生みなさんに伝えたいのは、「人生の方針のようなものを早めに決めておいた方がいい」ということです。例えば、家族を大事にして生きたいのか、世の中にインパクトを与えることを目指したいのか、好きなことで生きていきたいのかなど、「自分の人生で一番大事にしたいことは何なのか」ということです。それが分からなければ、こういうふうに生きたいと憧れるようなロールモデルを見つけることです。その人から学ぶうちに、自分なりの人生の方針が決まってくると思います。

私の場合、一番強かったのは好きなことで食べていきたいということですね。私にとっての「好きなこと」とは、誰かから言われたことをやるんじゃなくて、自分で考えて何かを生み出すこと。元々ものづくりが好きで、自分が作ったものが人に影響を与えることに喜びを感じていました。大学を卒業後、外資系証券会社に就職して2年弱で退職したのですが、その理由はやっぱり好きなことで食べていきたいと思ったからです。その後、取りあえず好きなことをやっていった結果、いろいろな出会いがあり、Wantedlyというサービスを作り、同名の会社を設立しました。Wantedlyは「給料」や「職歴」などの条件ではなく、「やりがい」や「環境」で求人者と求職者をマッチングする求人サイトで、現在月間60万もの人に使っていただいています。ということはそれほど多くの人の人生に影響を与えているわけです。そこにやりがいと面白さを感じています。

仕事をしていくうえではいろいろ大変なことやうまくいかないこともあります。生きることストレスを感じたり、仕事がつらくて辞めたいと思うことはありません。なぜなら好きなことで食べているからです。休みがそれで潰れても全然嫌じゃないと思える仕事を見つけれたら、人生勝ちだなと思います(笑)。

Wantedlyはそういう人、つまり「仕事でココロオドル人を増やす」というミッションを掲げて運営しているんです。「ココロオドル」とは幸福を意味します。仕事でココロオドル人が増えれば、ハッピーになれるし、生産性も上がり、ひいては国力のアップにもつながります。ただ、働くことの価値観は人それぞれ違うので、日本の就労人口の20%、1200万人くらいがそうなればいいと思っています。そのために日々仕事で心躍らせているんです。

起業家／仲 暁子

シゴトでココロオドル人生は
最高にハッピーです。

Akiko Naka
仲 暁子

なか・あきこ●1984年千葉県生まれ。中学卒業後、ニュージーランドのWellington East Girls CollegeとTamatea High Schoolに留学。留学中、留学生同士のコミュニティサイト運営に携わる。帰国後、京都大学経済学部に入學。在学中にフリーペーパー「chot better」を立ち上げ、京都市内の中小企業向けにHP制作会社を設立。卒業後2008年4月ゴールドマン・サックス証券に入社。2010年1月退職後、2010年7月Facebook Japanに初期メンバーとして参画。2010年9月、現ウォンテッドリーを設立し、Facebookを活用したビジネスSNS「Wantedly」を開発。2012年2月にサービスを公式リリース。現在は月間60万人のユーザー数を誇る。著書『ココロオドル仕事を見つける方法』(サンマーク出版)
Wantedly→<https://www.wantedly.com/>